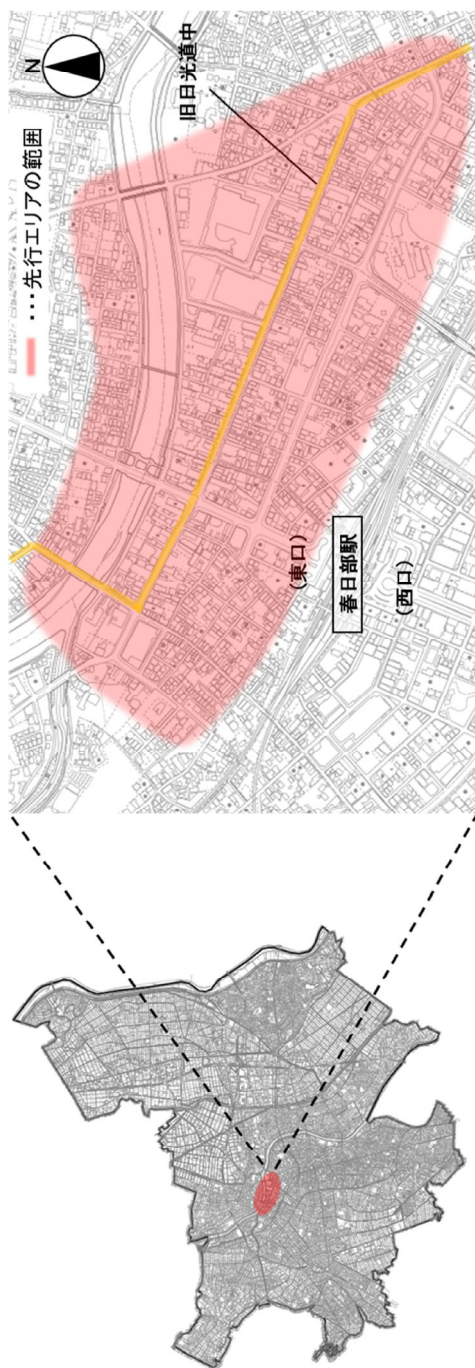


3.構想の実現に向けて

3－1 先行エリアの考え方

- リノベーションまちづくりでは、エリアを定め、集中的に複数の事業を展開させていくことで、それらの相乗効果とエリアの変化を生み出し、地域全体に波及させていきます。
- 本市では、今後、春日部駅付近連続立体交差事業と一体となったまちづくりを推進するため、旧日光街道（かすかべ大通り）沿いを中心とした下図エリアを「先行エリア」に設定します。
- このエリアは、本市の中心市街地として魅力の向上と求心力を維持していく必要性が高いことと、遊休不動産や公共空間の有効活用ができ、大落古利根川等の貴重な地域資源、産業及び人材が豊富にあることから、リノベーションまちづくりの効果が最も発揮されやすいと考えられます。
- また、地元商店街、大学及び市で連携したまちづくりの取り組みや社会実験が既に行われており、引き続き連携を図ることで、これまでの実績を活かし、より質の高い事業効果が得られます。



3. 構想の実現に向けて

3-2 先行エリアの特徴

エリアの特徴

- 日光道中の宿場町“粕壁宿”として栄えた商業地域で商家の蔵や日光道中の道しるべなどが残る
- 大落古利根川などの自然環境や古利根公園橋、彫刻など地域特有の資源がまちなかにある

地域が抱える課題

- 店舗の撤退により、人通り、商店街の活力低下
- 蔵などの減少により、地域の魅力・特色の低下
- 店主の高齢化や後継者不足、空き店舗の増加

これまでの取り組みと今後の兆し

- 若手商店主による商店街の活性化事業（NEXT商店街プロジェクト事業）
- 民間団体等による公民学連携の取り組み（かすかベシネマ、銭湯カフェなど）
- 日本工業大学との包括的連携推進事業による遊休不動産活用の研究や社会実験（匠のフジダナヒロバ）
- 新たな都市基盤整備（春日部駅付近連続立体交差事業）

既存ストックを活用した当エリアでの取り組み



商工会議所青年部による大落古利根川を活用したイベント（春日部夕涼みフェスタin公園橋）



民間事業者による屋上を活用した屋外映画上映イベント（かすかベシネマ）



before



after

日本工業大学との包括的連携推進事業による匠大塚春日部本店の駐輪場を地域の憩いの場にする社会実験（匠のフジダナヒロバ）

リノベーションまちづくり

- ・空き家、空き店舗などの遊休不動産
- ・道路、公園、公共施設などの公共空間
- ・歴史・文化・自然などの地域資源
- ・桐たんすや押絵羽子板などの地場産業
- ・公民連携＋学によるまちづくりの取り組み（人材）



新たな都市基盤整備

（春日部駅付近連続立体交差事業）

相乗効果により、
それぞれの効果が
より高く発揮できる

4. 実施計画

4-1 エリアの目指すゴール

第1段階

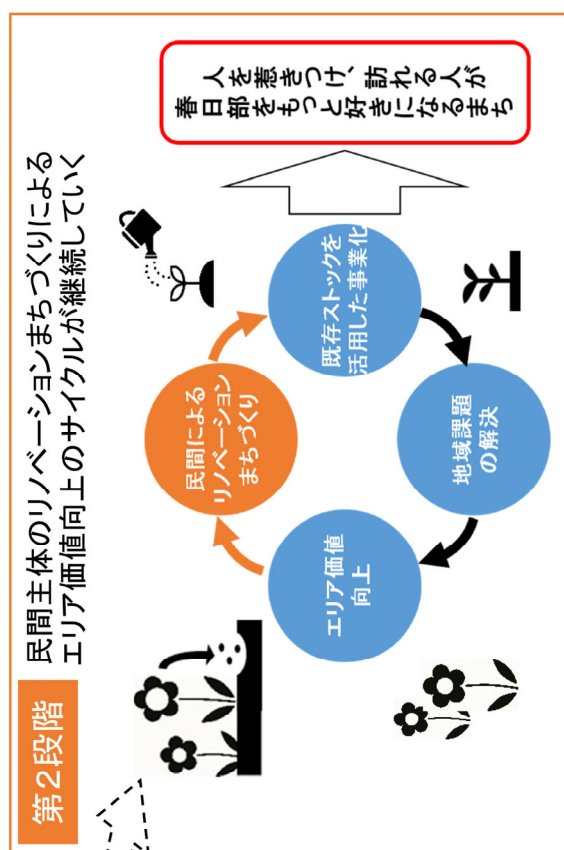
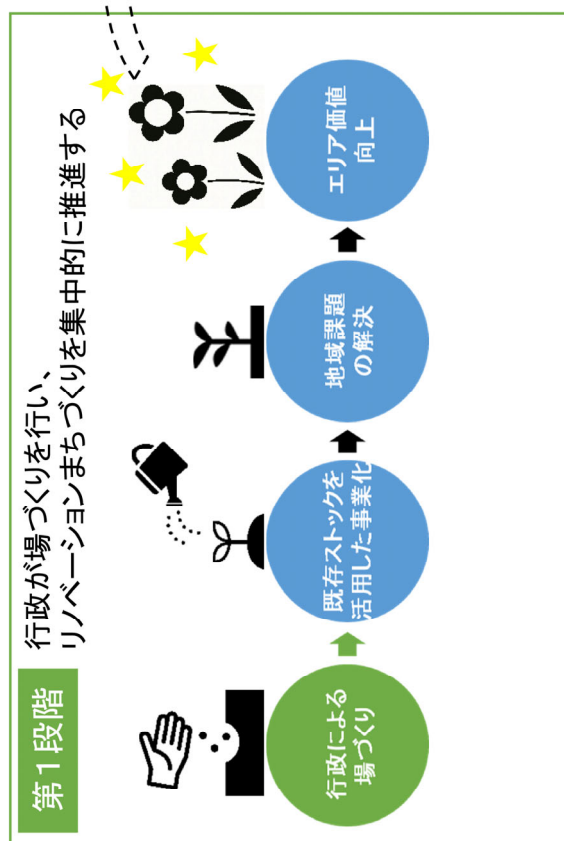
○リノベーションまちづくりの普及啓発と地域の新たな担い手の発掘・育成のための場づくりを行政が行い、まちのビジョンの実現に向けた複数のリノベーションによる事業化を推進していきます。

第2段階

○エリア内で複数の事業が展開されていくことにより、エリアに変化が生じ、新しい価値や魅力が創出されていきます（エリア価値向上）。

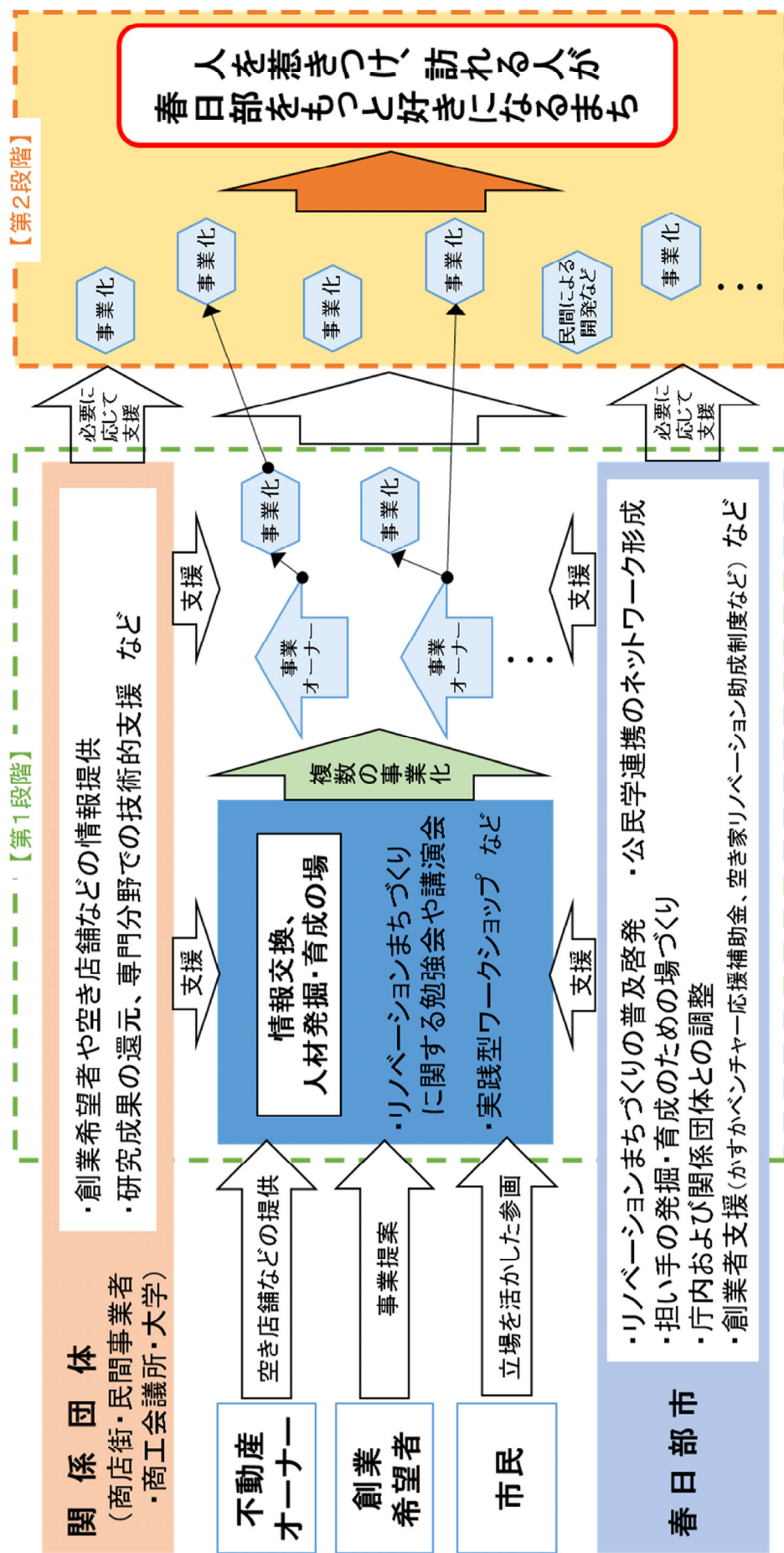
○第1段階で創業した事業オーナーなどの更なる事業展開や、民間事業者による事業化・起業・進出が誘発され、民間によるリノベーションまちづくりが行われていきます。

○行政はその民間によるまちづくりを支援する形をエリアの目指すゴールとします。



4. 実施計画

4-2実施の仕組みとそれぞれの役割



※市民・・・市内に居住し、通学し、又は活動する個人及び団体をいいます。(春日部市自治基本条例より)

4. 実施計画

4-3 その後の展開

《春日部駅東口エリア》

○春日部駅付近連続立体交差事業と併せてリノベーションまちづくりを推進する先行エリアとします。

既存ストックの活用を通じて課題解決

まちの活力・賑わい再生 地域資源活用 雇用創出 など

《武里駅西口エリア》

○先行エリアでの実績やネットワークを活かし、UR都市機構による団地再生事業と併せてリノベーションまちづくりを推進する第2エリアとします。

既存ストックの活用を通じて課題解決

駅前周辺の賑わい創出 雇用創出 など
地域コミュニティ再生

《市全域へ派生》

○これまでのエリアで創業した事業オーナーや周辺都市でのリノベーションまちづくりの取り組みと連携します。
○その取り組みを民間主導で市全域に派生させ、活性化を旨指します。

